「声かけできる気持ち」

盲導犬の講話の中で
生徒がアイマスクをかけた
その時の生徒の動きが
目に焼きついた
落ち着きのある生徒だったが
アイマスクをつけてから
どこか落ち着きがない
「どうしたのだろう」と思い
目を閉じてみた
目を閉じて歩いてみた
アイマスクの生徒の
気持ちがその時にわかった
白線の上をまっすぐ
歩いたつもりが
大きく左にずれていた
三度繰り返したが三度とも
まっすぐ歩いていない
目を閉じて歩いた
不安な気持ちを
アイマスクをつけ
目を閉じてみて
はじめて知った
不自由な生活を受け止めて
生きている方々がいる
その方々に
「困っていることは
　ありませんか」と
声かけできる気持ちになれた

1 年　福祉実践教室　12月11日（金）